

令和6年度常盤高校学校説明会 校長あいさつ

令和6年11月30日(土)

皆様 おはようございます。常盤高校 校長 鴨志田新一です。本日は、土曜日にも関わらず、学校説明会にお越しいただきありがとうございます。

11月の最後の日を迎え、中学3年生は、公立高校の受験まで、2か月半となりました。すでに受験する高校を決めた人、まだ決めかねている人、さまざまだと思います。

年が明けると、私立高校の受検が始まり、あっという間に公立高校の受検となります。一日、一日を大切に、自分を見失わないようにしてください。

まだ決めかねている人は、今日の説明会で、常盤高校への受検を決めてもらえると嬉しいです。

また、1、2年生は、早い時期から学校説明会に参加することで、将来の夢や目標を立て、中学校生活を充実した日々を送ることができるのではないかと思います。

さて、常盤高校は、埼玉県内唯一の5年一貫の看護師養成の専門高校です。全員が、看護師の国家資格合格を目指して頑張っています。中学卒業後、最短で国家試験に合格できます。授業料も県立高校と同様で、普通科の高校を卒業後、看護師を目指すことと比べると費用はかかりません。また、同じ志を持つ仲間と日々の学校生活を送ります。

看護師になるには、しっかりと知識や技術は重要ですが、看護師としての心、豊かな人間性、思いやりやコミュニケーション能力、思考力や判断力も兼ね備えていなければなりません。常盤高校は、高校を卒業した後の大学や専門学校と違い、人生の中でも多感で一番成長する時期である高校時代から看護を学びますので、看護師としての心や豊かな人間性も育成していきます。

もちろん高校ですから、看護の勉強だけではありません。学びの基礎となる国語や数学、英語などの教科もしっかりと学習します。文化祭や体育祭、修学旅行、部活動などの学校行事もあります。1学年80名の少数ゆえに、こうした学校行事も大いに盛り上がります。

看護師の仕事は人を看護することです。どんなに高度な医療技術が開発されたり、AIや人工知能が発達したりしても、人による看護に取って代わることはできません。

本校の校歌に「友と手を取り学ぶとき 天使の声を胸に聞く」という一節があります。同じ志を持った仲間と、共に手を取り、支え合いながら、充実した高校生活を送れる。常盤高校は、そんな高校だと私は、信じています。